

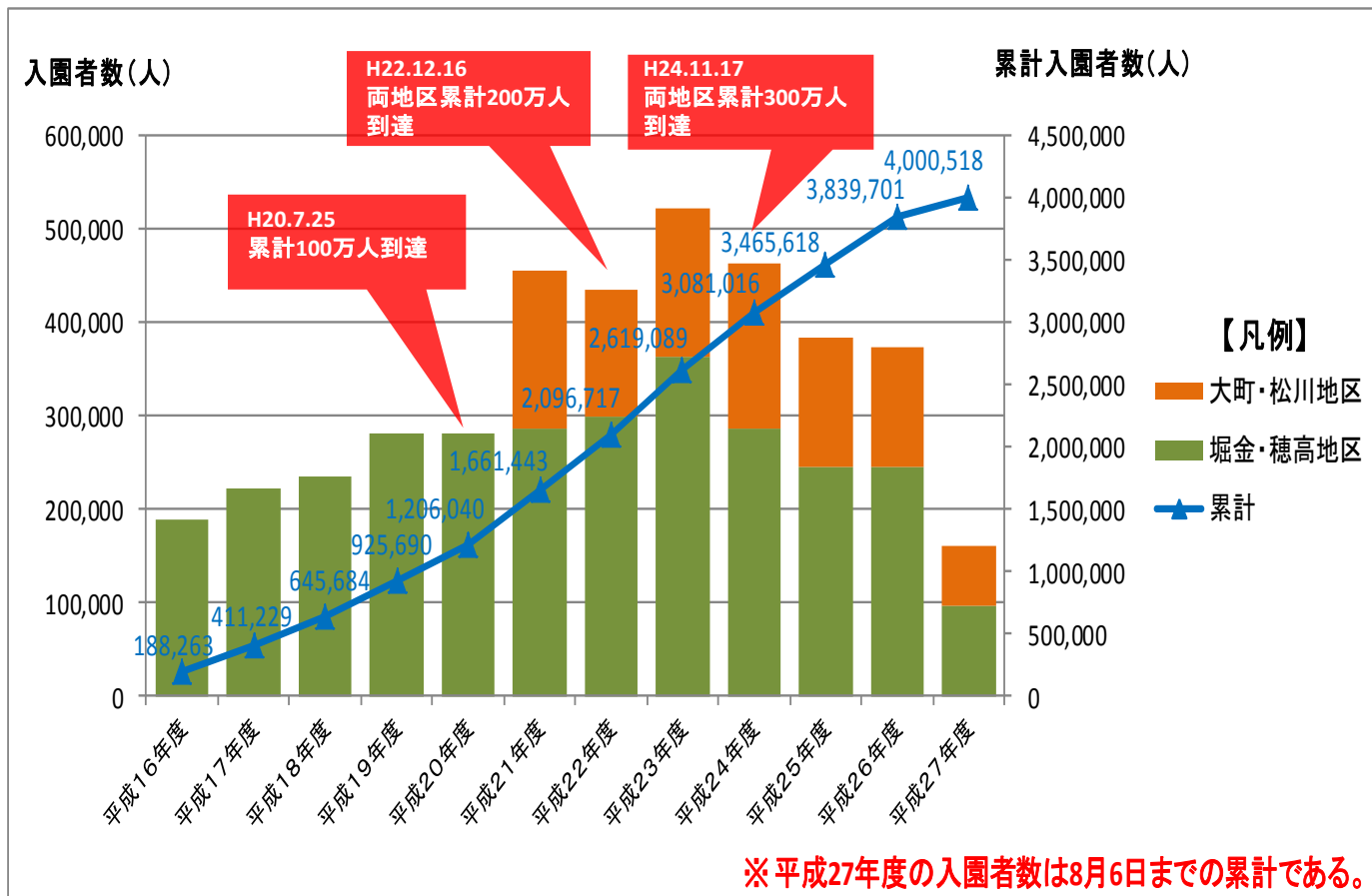
あづみの公園の入園者数が400万人に達しました！

国営アルプスあづみの公園事務所

国営アルプスあづみの公園は、全体計画約353haの公園で、平成16年7月に堀金・穂高地区の一部、平成21年7月には大町・松川地区の一部を開園して以降、現在までに約148ha（堀金・穂高地区：約44ha、大町・松川地区：約104ha）を開園し皆様にご利用いただいているところです。

このたび、平成27年8月6日（木）に両地区の累計入園者数が400万人に達しましたので、お知らせいたします。

■ 入園者数の年度別推移



※地区毎の入園者数内訳（平成27年8月6日現在）

堀金・穂高地区：3,029,430人 大町・松川地区：971,088人

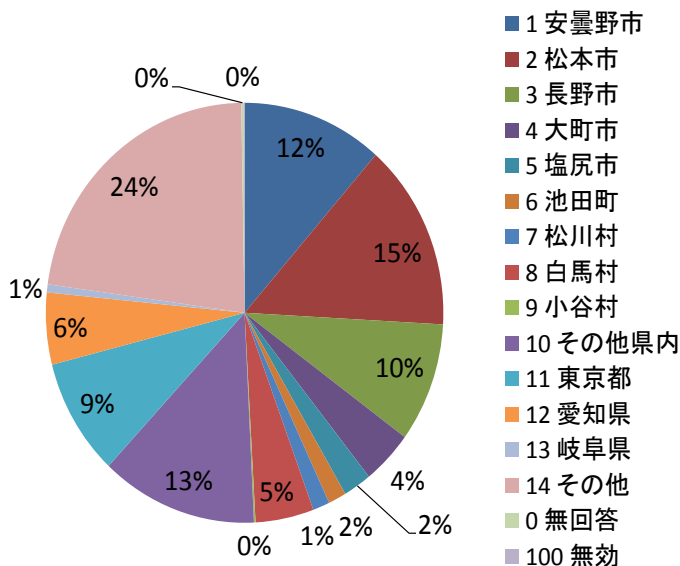
■入園者数の属性（平成26年度）

※回答数：2,169

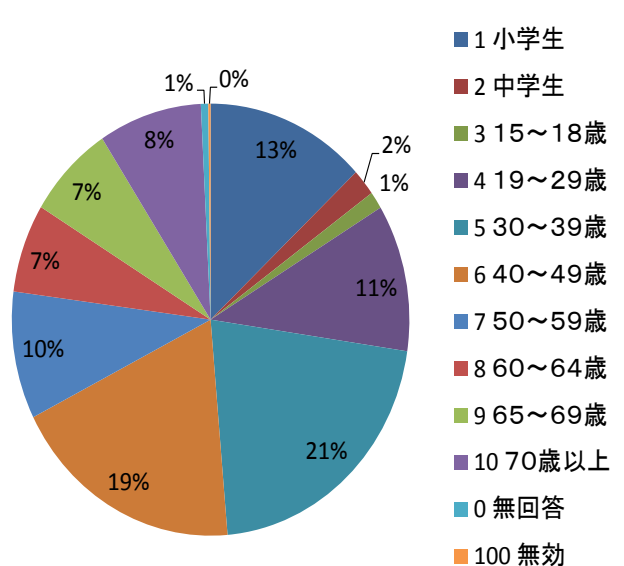
入園者の居住地及び年齢層

- 長野県内からの来園が約6割を占め、県外者は東京都が9%。
- 県内来園者の上位は安曇野市、松本市、長野市で、その3市で全体の約4割。
- 19～49歳の年齢層が全体の約5割を占め、次いで50歳以上が約3割。

【入園者の居住地】



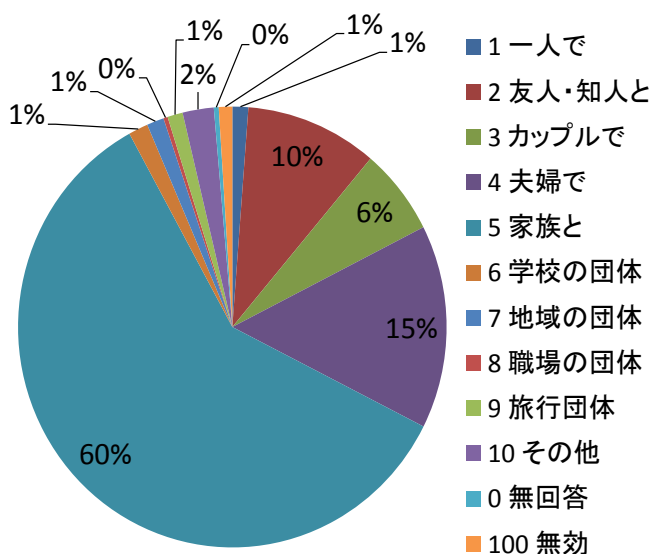
【入園者の年齢層】



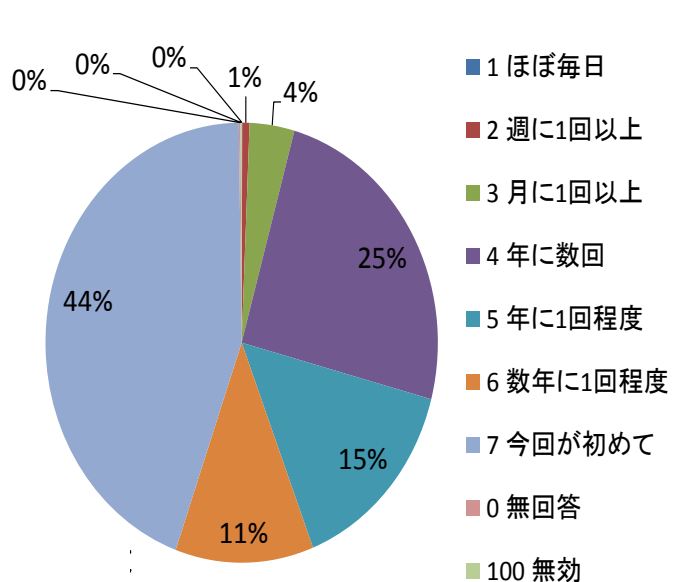
入園者の形態及び来訪回数

- 家族での入園が60%と高く、学校などの団体入園は少ない傾向。
- “はじめての来訪”が44%とウエイトが高く、リピーターの割合が少ない傾向。

【入園者の形態】



【公園への来訪回数】



■ 入園者数400万人到達までの経緯

- ◇平成16年7月24日
堀金・穂高地区Ⅰ期（約27ha）開園【写真①】
- ◇平成20年4月25日
入園者数100万人到達
- ◇平成21年7月18日
大町・松川地区Ⅰ期（約79ha）開園
- ◇平成22年12月16日
両地区入園者数200万人到達
- ◇平成23年10月9日
堀金・穂高地区入園者数200万人到達
- ◇平成24年11月17日
両地区入園者数300万人到達【写真②】
- ◇平成25年9月28日
大町・松川地区Ⅱ期（約25ha）開園
- ◇平成26年4月26日
堀金・穂高地区Ⅱ期（約17ha）開園
- ◇平成27年6月9日
堀金・穂高地区入園者数300万人到達【写真③】
- ◇平成27年8月6日
両地区入園者数400万人到達



①堀金・穂高地区（Ⅰ期）開園



②両地区地区入園者数
累計300万人到達



③堀金・穂高地区入園者数
累計300万人到達

■ 各地区の主な施設



堀金・穂高地区（Ⅰ期）
あづみの学校内 水槽とジオラマ



大町・松川地区（Ⅰ期）
空中回廊



堀金・穂高地区（Ⅱ期）
こどもの森遊具



大町・松川地区（Ⅱ期）
スプラッシュリバー